

平成28年10月
(有)トポロジー

標準宅地・取引事例ポイント表示システム(Tmap)について

座標値登録した標準宅地、公示・基準地データや取引事例データ(新スキームで座標値登録済)を地図上にプロットするシステムです。
取引事例比較法の採用事例での絞り込み表示も可能です。

動作環境

Firefox47.0.1、IE11 (但し「ブロックされているコンテンツを許可」ボタンが出現した場合は許可すること)、Google Chrome51.0.2704.103 m、MicroSoft Edge

ダウンロード方法

- ① 当社ホームページアドレス「<http://www.topology.co.jp>」の「ユーザーサポート」を開きます。
- ② 標準宅地・取引事例ポイント表示システム(Tmap)の項目にある
●Tmapインストールファイルををクリックしてダウンロードします。
- ③ ダウンロードファイルは「HyojunTmap.zip」です。保存先はデスクトップなど任意の保存先を指定してください。

セットアップ方法

- ① 「HyojunTmap.zip」をダブルクリックして解凍される「HyojunTmap」フォルダを開きます。
- ② 「HyojunTmap」フォルダ内の「HyojunTmap.exe」をダブルクリックします。
- ③ 既定の解凍先はCドライブですが、Dドライブ等に変更可能です。
- ④ ③で指定したドライブに「HyojunTmap」フォルダが作成されます。
- ⑤ 「HyojunTmap」フォルダ内の「Tmap9.html」が実行ファイルです。

アンインストール方法

「HyojunTmap」フォルダごと削除してください。

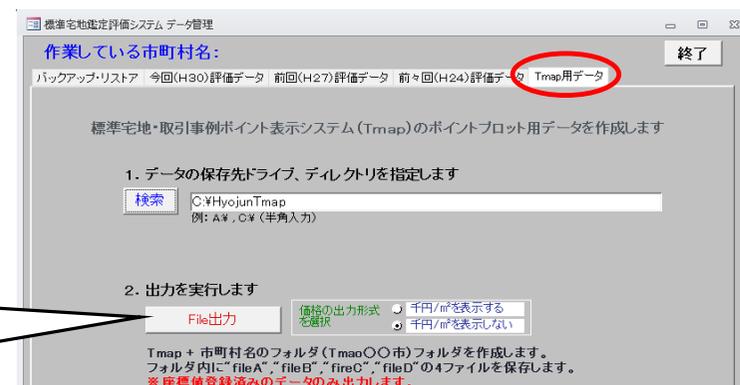
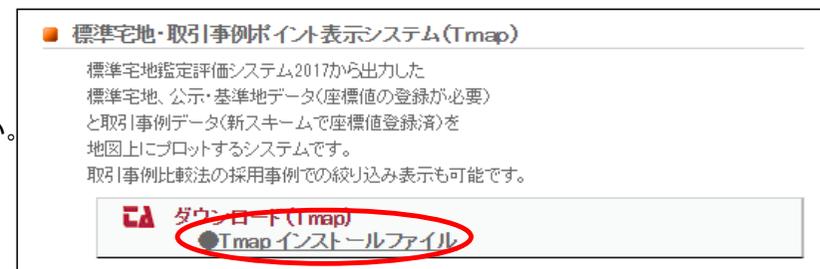
用意するデータ

- ・「fileA.csv」・・・事例データ
- ・「fileB.csv」・・・標準宅地データ
- ・「fileC.csv」・・・標準宅地と事例の対応
- ・「fileD.csv」・・・地価公示・地価調査データ

標準宅地鑑定評価システム2017の
[データの管理] → [Tmap用データ] より作成できます。

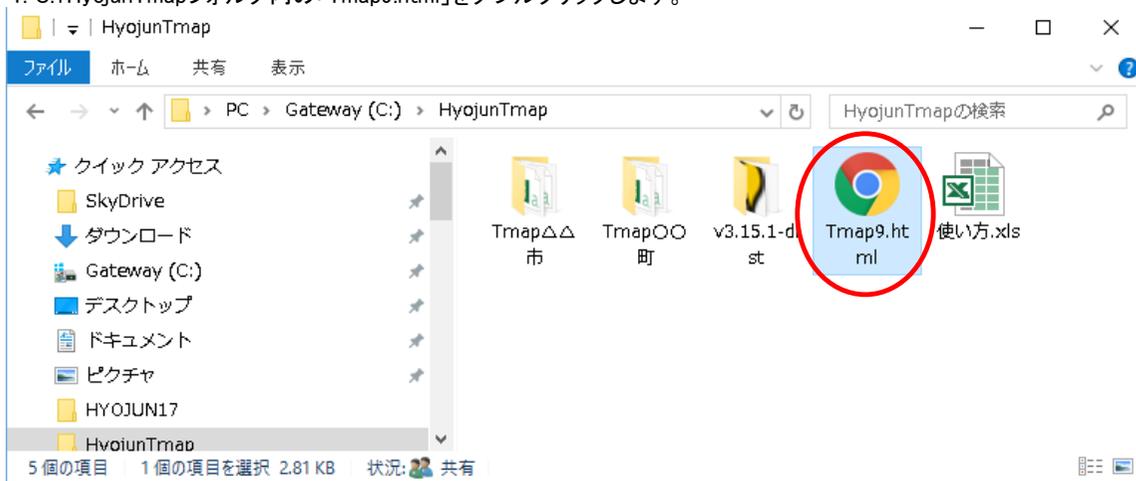
※fileA～D.csv はどこに保存してもよいですが、HyojunTmapの市町村別フォルダ内に
保存すると判りやすいと思います。

座標値登録済みの標準宅地、公示・基準地、取引事例データからCSVファイル(fileA～D)を
Tmap+市町村名のフォルダを自動的に作成して、そのフォルダ内に保存します。(Tmap△△市など)
作成したCSVファイル(fileA～D)は標準宅地・取引事例ポイント表示システム(Tmap)で地図上に
プロットできます。
※標準宅地、公示・基準地は事前に座標値の登録が必要です。



使い方

1. C:\HyojunTmapフォルダ内の「Tmap9.html」をダブルクリックします。



2. IE11は「ブロックされているコンテンツを許可」ボタンが出るのでクリックして許可します。



3. 「参照」ボタンをクリックします。

C:\¥HyojunTmap¥Tmap9.html

Point Map

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

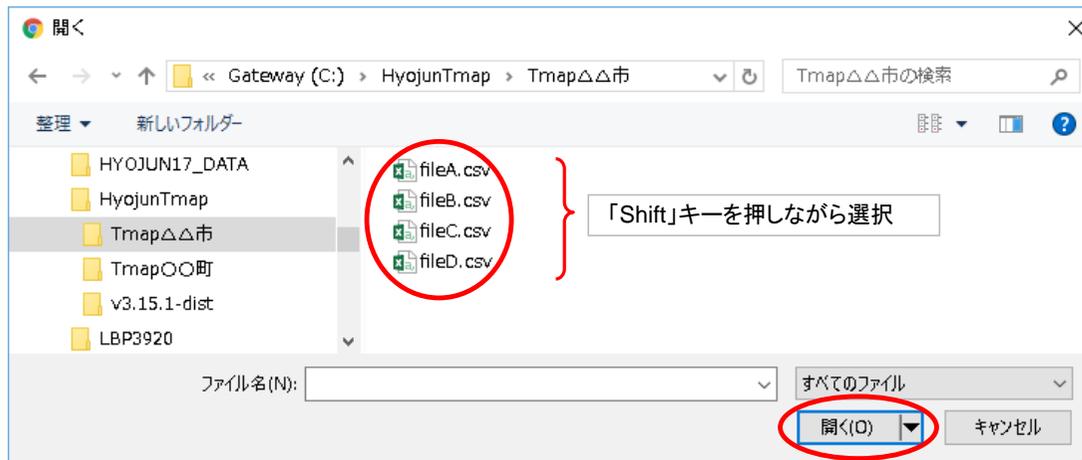
参照... 背景図の変更 背景図の濃度調節 100% 公示・調査 取引事例 標準宅地

標準宅地の指定

Scale = 1 : 8531

19:01
2016/08/24

4. 「Tmap△△市」フォルダなどに保存した「fileA.csv」、「fileB.csv」、「fileC.csv」、「fileD.csv」を全部選択して「開く(O)」をクリックします。
※「Tmap△△市」を選択して表示した後で「Tmap〇〇町」を表示したい場合は、3の「参照」ボタンから「Tmap〇〇町」フォルダ内の「fileA.csv」、「fileB.csv」、「fileC.csv」、「fileD.csv」を選択します。
※地図上に表示できるのは「参照」でファイル選択した1市町村だけです。



※「Tmap△△市」フォルダとその中の「fileA.csv」、「fileB.csv」、「fileC.csv」、「fileD.csv」はトポロジーソフト「標準宅地鑑定評価システム2017」から作成できます。

5. 4で選択した市町村の地図が表示されます。

- 「公示・調査」「取引事例」「標準宅地」ボタンをクリックするとポイントを表示します。再度クリックするとラベルを表示します。さらに再度クリックすると地図から消えます。各ポイントのマーカーをクリックすると、該当ポイントの属性をポップアップで表示します。別の場所をクリックするとポップアップは消えます。
- 「標準宅地の指定」ボタンは、左側に入力した標準地番号またはリストから選択した標準地番号と比準採用した取引事例を色を強調して表示します。消したい場合は、リストの消去またはテキストボックスを何も入れない状態でクリックしてください。
- 「背景図の変更」は下図を変更します。地理院タイル(標準地図)→地理院タイル(空中写真)→OpenStreetMapの順で表示します。
- 「背景図の濃度調整」は下図の濃度を調整します。初期表示は淡めですが%を上げると濃くなります。

The screenshot displays the Tmap application window. The title bar shows the file path 'C:\HyojunTmap\Tmap9.html' and the application name 'Point Map'. The menu bar includes 'ファイル(F)', '編集(E)', '表示(V)', 'お気に入り(A)', 'ツール(T)', and 'ヘルプ(H)'. The main toolbar contains buttons for '背景図の変更', '背景図の濃度調節' (set to 100%), '公示・調査', '取引事例', and '標準宅地'. A dropdown menu on the right lists standard land numbers from 19027 to 9014, with '9004' selected. A text input field next to it is labeled '標準宅地の指定'. The map area shows a street grid with several data points, each labeled with a standard land number and a price per square meter (e.g., '大垣 5 4 6 8-85408(e) 39千円/m²'). The map scale is indicated as 'Scale = 1 : 4265'. The Windows taskbar at the bottom shows the system tray with the time '19:36' and date '2016/08/24'.

- 標準宅地・取引事例ポイント表示システム(Tmap)を終了すると、プロットしていたポイントは全てクリアされます。次回起動時は、3.「参照」ボタンから「fileA.csv」、「fileB.csv」、「fileC.csv」、「fileD.csv」を選択しなおしてください。